

プレスリリース

関係者各位

2018年1月12日
株式会社チーム AIBOD

国立研究開発法人産業技術総合研究所殿の
「AI データ共有システムの開発」企画・提案の調達公募
に当社の提案が採択されました。

国立大学法人九州大学および公益財団法人九州先端科学技術研究所発ベンチャー企業「株式会社チーム AIBOD（代表取締役社長：松尾久人、本社：福岡市）」**#1** は、国立研究開発法人産業技術総合研究所（本部所在地：東京都千代田区、理事長：中鉢良治、以下、産総研）**#2** 殿の「AI データ共有システムの開発」企画・提案の調達公募（以下、コンペ）に同社の「デジタルコラボレーションプラットフォーム “AIBOD Share & Mill”」**#3** をベースとした試作システムを提案、昨年 11 月末に採択され、この度契約を締結いたしました。

本コンペでは、AI（人工知能）によるデータ分析で必要となる各種のデータを効率よく収集・再利用することにより AI 研究開発を加速することを目的に、

- これらのデータを AI 研究開発コミュニティ内で公開・共有するためのサービスアーキテクチャに関する要件定義を行い、
- その要件定義に基づいた試作システムを開発、さらに、
- 「AI コミュニティにおけるデータの公開・共有を行うためのサービスアーキテクチャ」の実現可能性を検証する

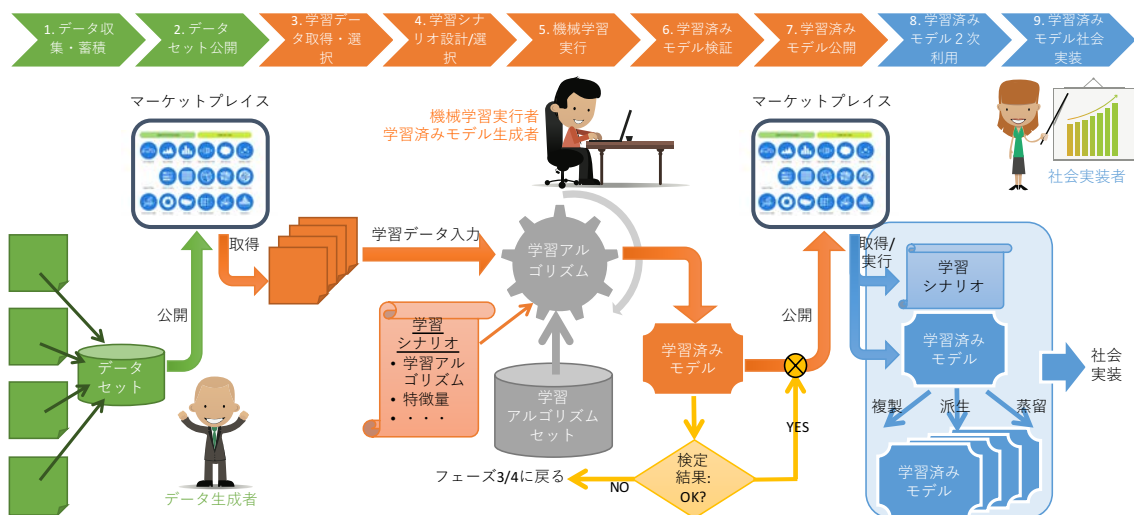
ことを求めたものです。

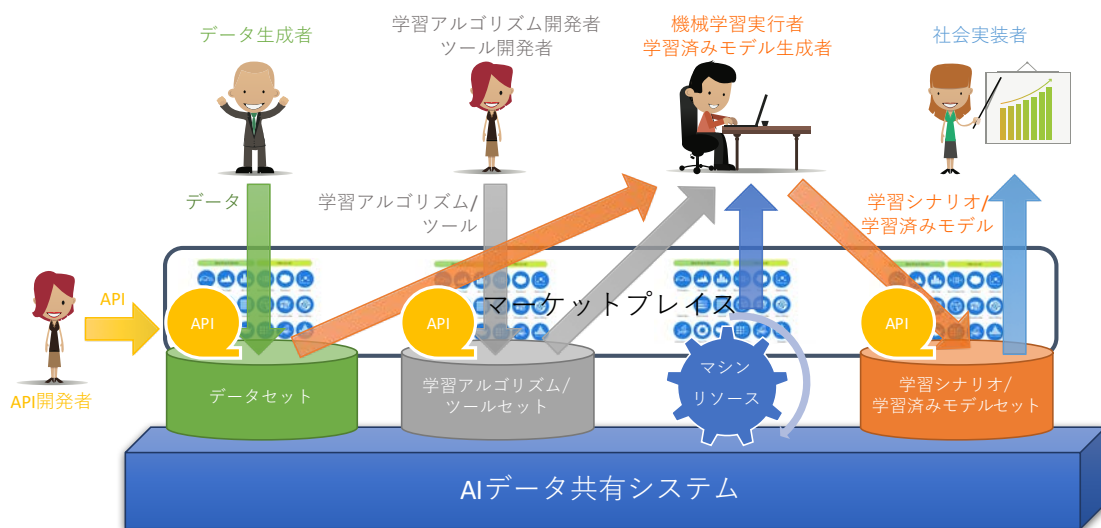
本コンペに対する当社の提案は、同社製品の「デジタルコラボレーションプラットフォーム “AIBOD Share & Mill”」に基づいたもので、次の特長を有します。

- データ収集：研究者個人が所有するデータに加えて、産総研内のデータレポジトリ、産総研外のオープンデータカタログサイト、データ提供サイトから自動的にデータを収集。

- データ整理：収集した膨大なデータを効率的に閲覧・検索・推薦可能とするために、データを自動的に整理。データの中身を AI を用いて分析し、カテゴリー分類、データどうしの類似性に基づく分類、等を自動的に実施します。
- データ共有：現在広く使われている「共有フォルダ」型のデータ共有方式とは異なり、「e コマース」型の「データ共有要求-許可」方式を採用。本方式では、(1) データ所有者がまずデータを「マーケットプレイス」に公開、(2) データを探しているデータ要求者がマーケットプレイスで所望のデータを見つけたら「データ共有要求」をデータ所有者に送信、(3) データ所有者が「データ共有許可」を出して初めてデータ要求者は当該データが利用可能、という手順を踏みます。これにより、不用意なデータ提供を防げると同時に、データ所有者とデータ要求者がお互いに顔が見える関係を築くことにもなり、「AI コミュニティ」形成にも繋がります。

当社は本「AI データ共有システムの開発」を通じて、産総研殿が推進されている「産総研 AI オープンイノベーションエコシステム」（下図参照。なお、下図は当社作成のイメージ）の構築の一助となるべく今後とも努めて参ります。





さらに、「デジタルコラボレーションプラットフォーム “AIBOD Share & Mill”」を AI 以外の分野でも、以下の顧客価値に繋げていくよう努力して参ります。

- 「デジタル変革/DX」を目指す企業殿において、膨大なデータ資産を組織横断的に共有・利活用することで新たな顧客価値を創造する。
- 「オープンイノベーション」、「オープンサイエンス」を志す企業殿、研究機関殿において、内外の研究者・技術者が自身の研究データを持ち寄り共有することで、研究開発を加速する。
- 「官民データ活用推進基本法」に則りデータ活用プラットフォームの整備・構築を検討中の地方自治体殿において、多額の投資なしで直ちに官民データ活用を開始できる。

以上

#1: 当社は松尾久人(元 日本 IBM、現在 代表取締役社長&九州大学学術研究員) および村上和彰(元 九州大学教授、元 九州先端科学技術研究所副所長、現在 副社長&九州大学名誉教授) が、2016年2月に創業した IT ベンチャー企業です。社員の大半は元 九州大学教員・学術研究員、元 九州先端科学技術研究所研究員・研究助手です。社名の“AIBOD”の“AI”は人工知能を、“BOD”はビッグデータとオープンデータを表しています。事業内容も社名通り、人工知能とデータを中心に、人工知能応用サービス、データ分析サービス、データ共有・利活用プラットフォーム開発・提供、データ分析プラットフォーム開発・提供、エネルギー

マネージメントプラットフォーム開発・提供へと展開しています。

#2: 産総研殿は国内有数の人工知能研究拠点である「人工知能研究センター」を有し、2017年4月よりAI専用のクラウド型計算システム「産総研AIクラウド(AAIC)」を運用、さらに2018年度から国内最速となるスーパーコンピュータシステム「人工知能処理向け大規模・省電力クラウド基盤(ABCI: AI Bridging Cloud Infrastructure)」を運用開始予定です。

#3: 当社製「デジタルコラボレーションプラットフォーム“AIBOD Share & Mill”」の紹介資料を参考資料として添付します。

株式会社チーム AIBOD

〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-7 スタープライズビル

電話: 092-982-6090 / FAX: 092-982-6092

広報担当: 西、長友

メールアドレス: team@aibod.com